

アレルギー疾患の診療等の 状況に関する調査結果

平成30年3月
疾病対策課

調査の概要

1 調査の目的

埼玉県におけるアレルギー疾患医療の提供体制の検討を行うための基礎資料とする。

2 調査方法等

(1) 調査の対象

下記の条件に該当する病院(平成29年11月現在 53施設)

- ①一般社団法人日本アレルギー学会の専門医・指導医が所属 37か所
- ②アレルギー科を標榜 17か所
- ③食物負荷試験を実施していると公表 7か所

(2) 主な調査項目

日本アレルギー学会専門医在籍数、診療実績、講演会等の開催
今後の対応や情報の公表の可否等

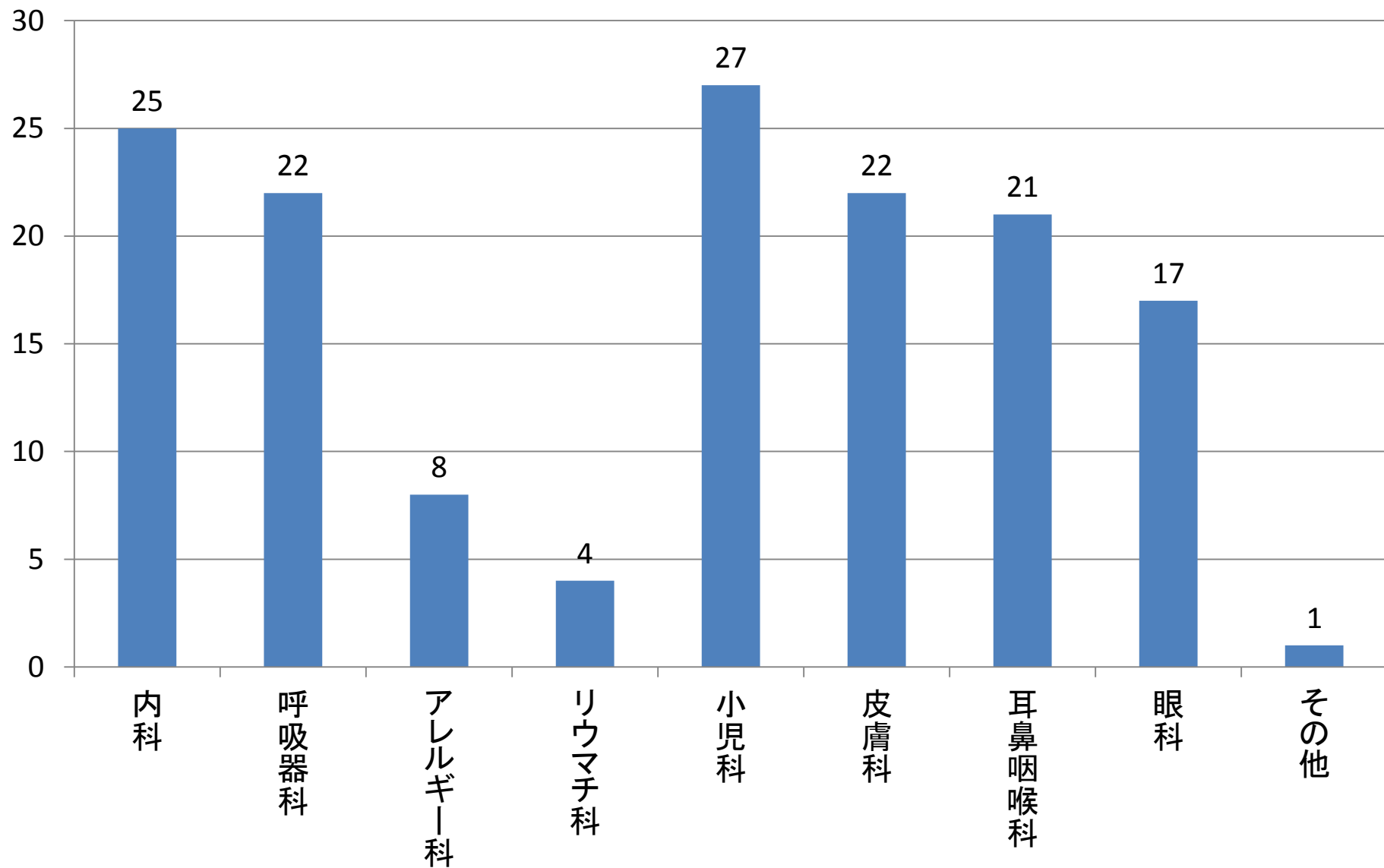
(3) 調査票回収状況

対象施設数 53施設

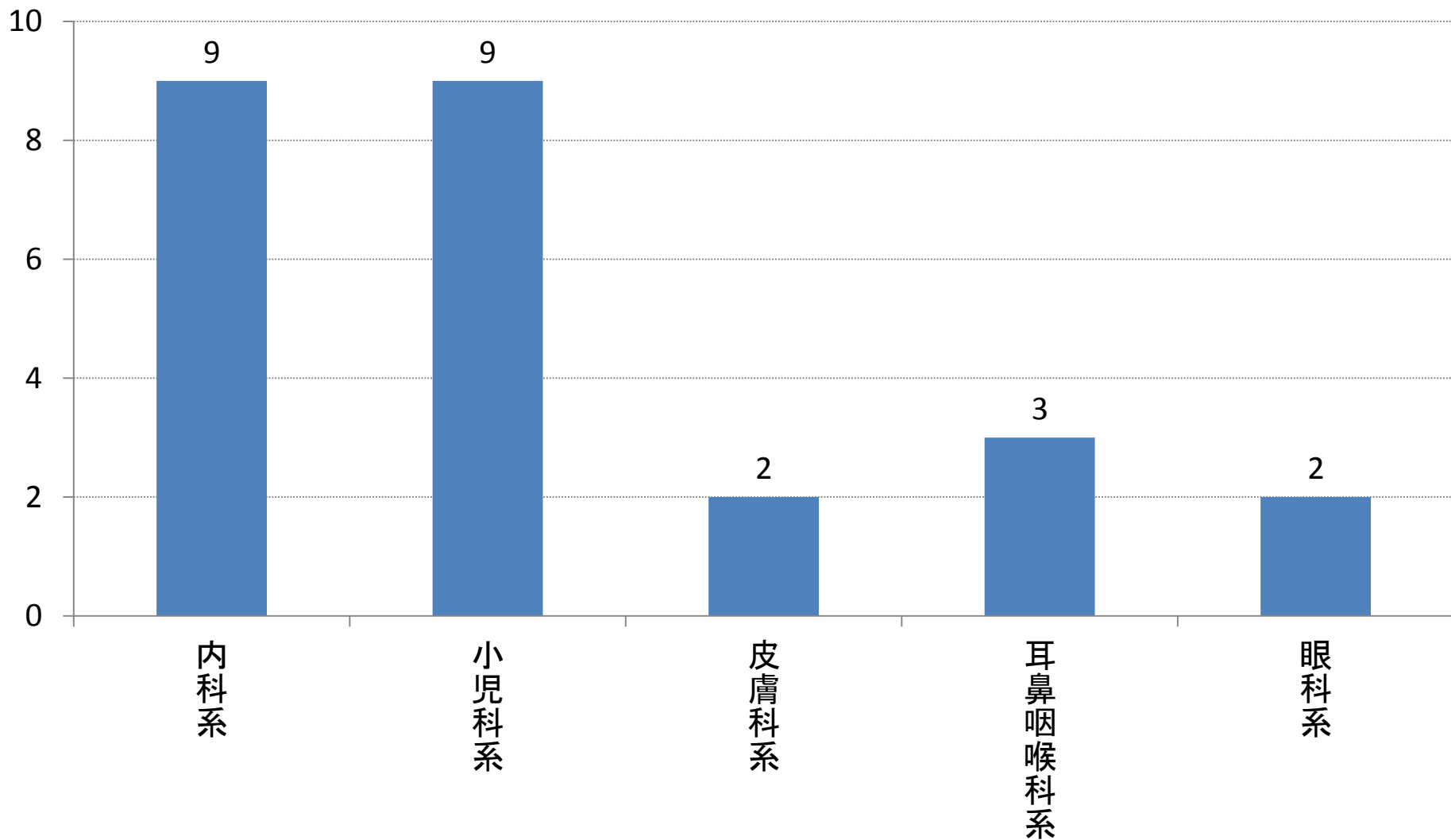
回答施設数 47施設

回収率88.7%

1 アレルギー疾患診療を行っている診療科の内訳

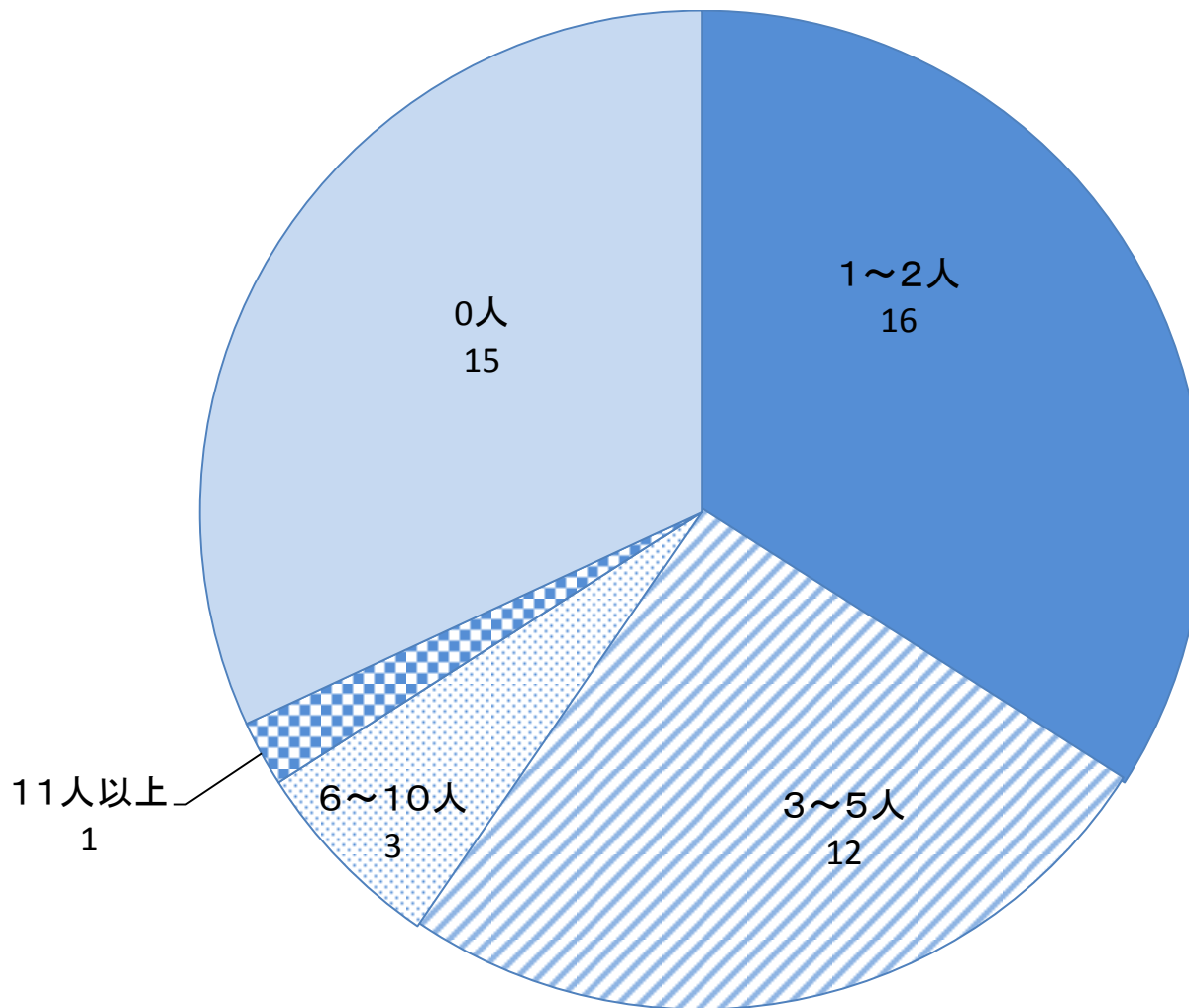


2 アレルギー疾患に係る専門教育研修施設の認定を受けている診療科の内訳



3 各診療科に在籍する日本アレルギー学会専門医数

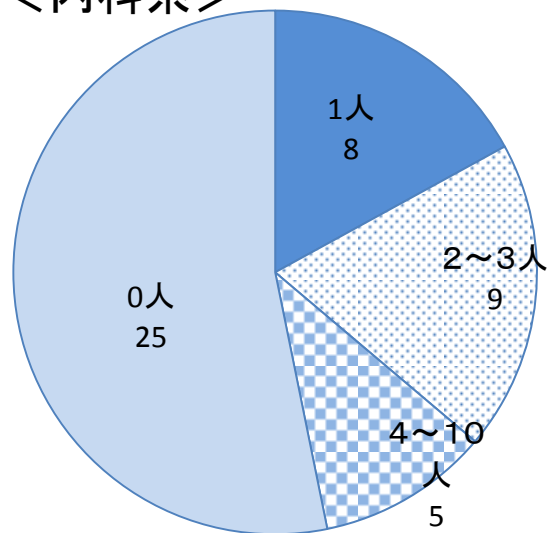
(指導医含む、内科系、小児科系、皮膚科系、耳鼻咽喉科系、眼科系の総数)



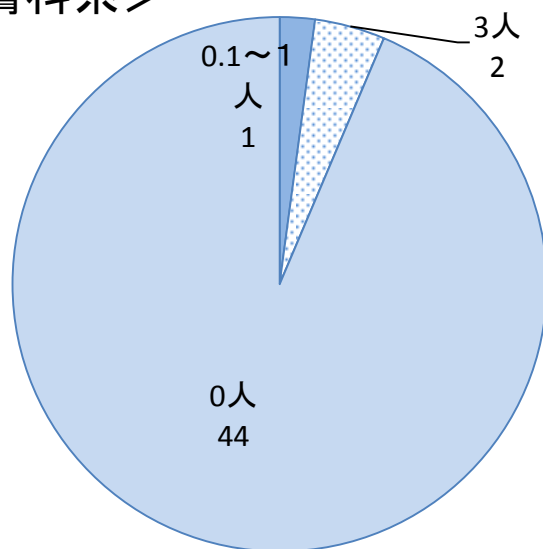
有効回答 47施設

4 診療科別の専門医・指導医所属状況

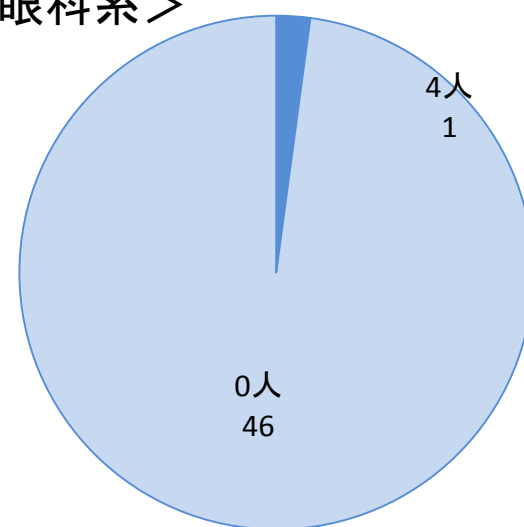
<内科系>



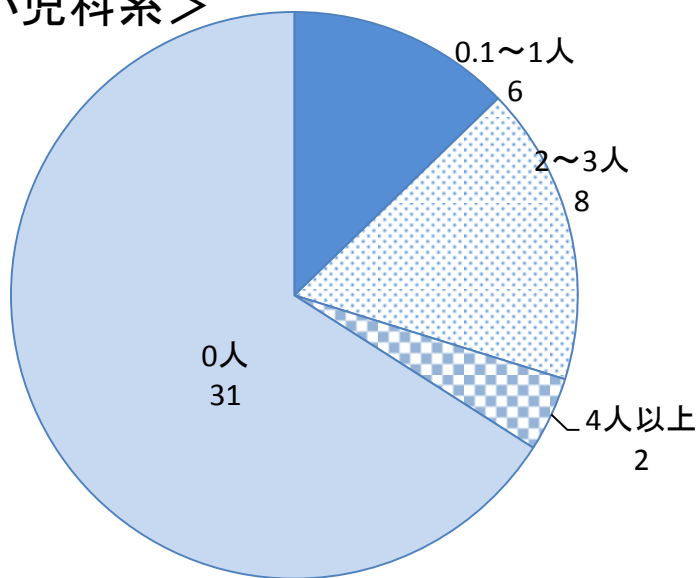
<皮膚科系>



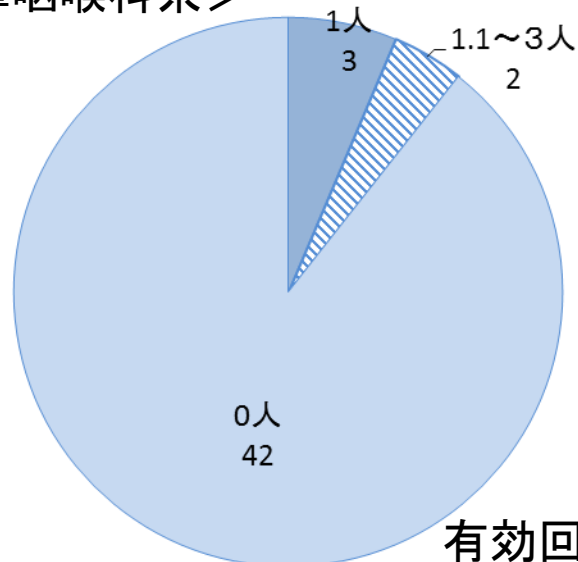
<眼科系>



<小児科系>

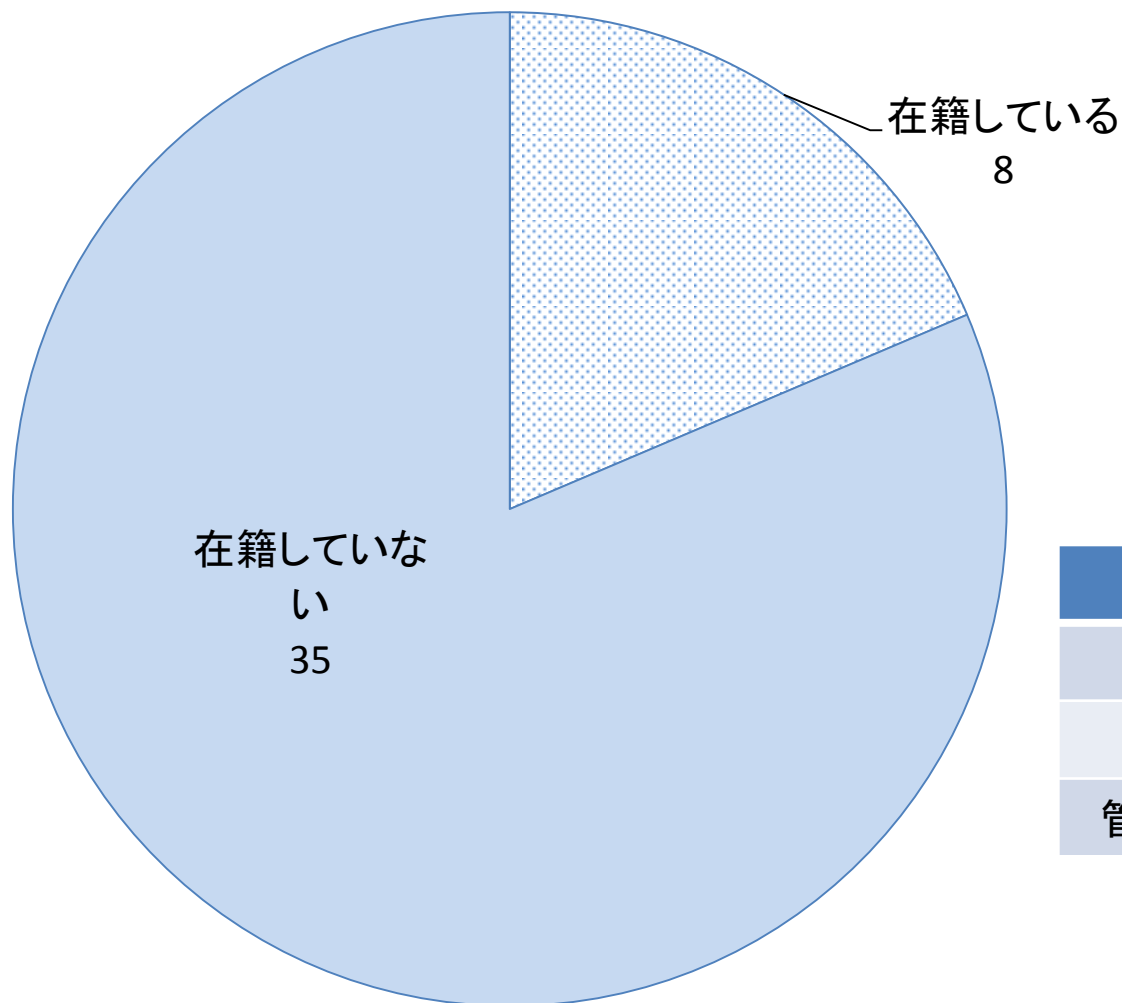


<耳鼻咽喉科系>



有効回答 47施設

5 小児アレルギーエデュケーター在籍の有無



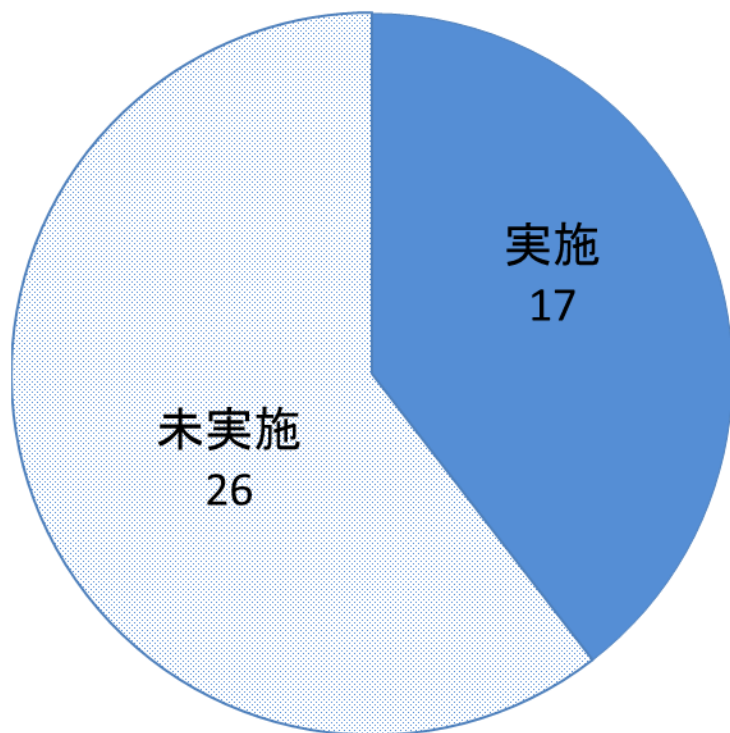
職種の内訳

職種	人数
看護師	9人
薬剤師	2人
管理栄養士	1人

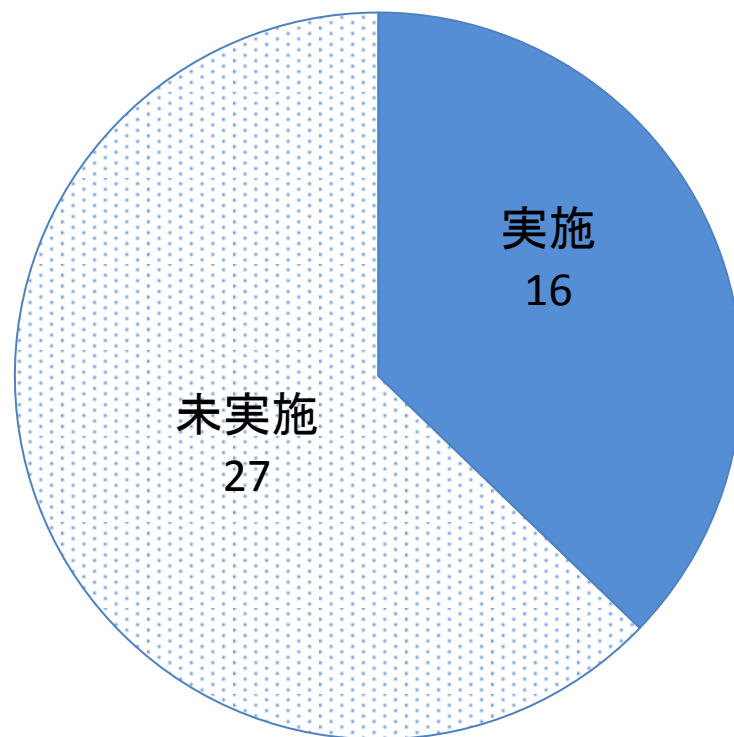
有効回答 43施設

6 食物負荷試験の実施状況

外来食物経口負荷試験



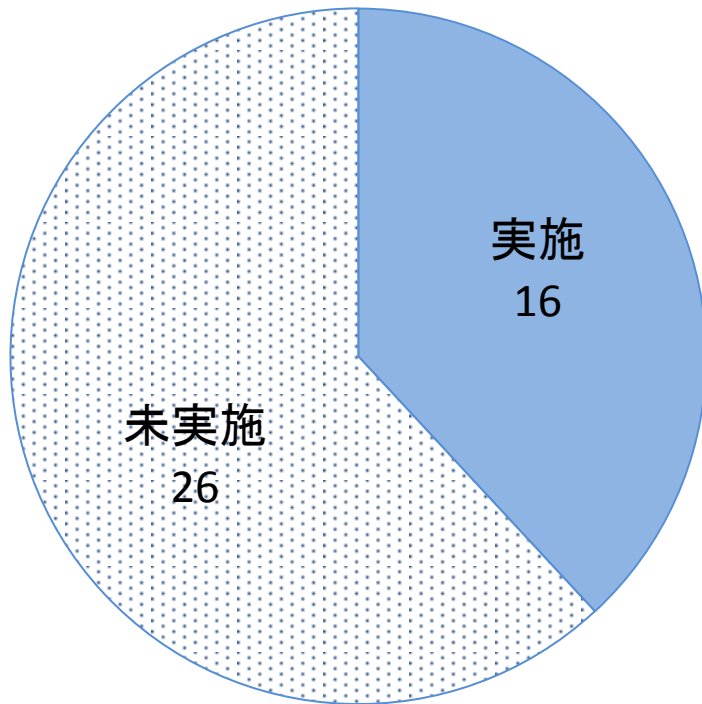
入院食物経口負荷試験



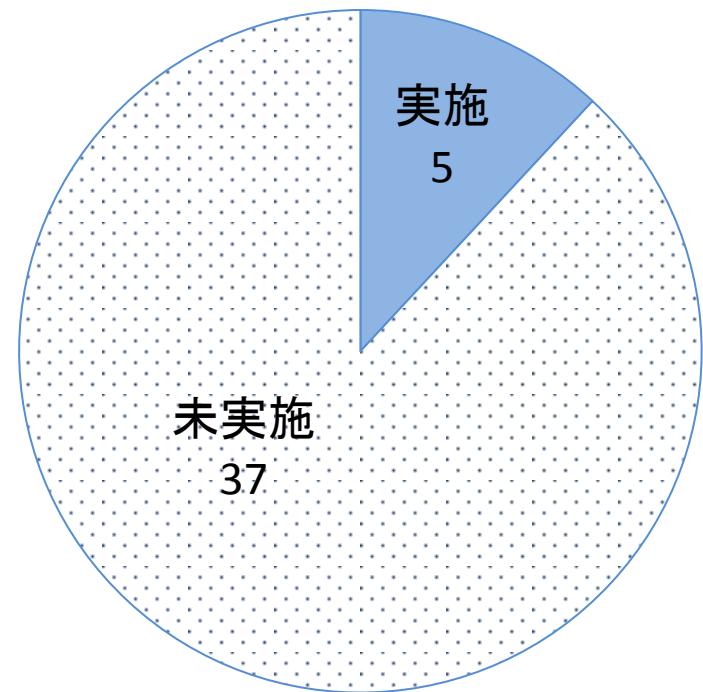
有効回答 43施設

7 アレルゲン免疫療法の実施状況

＜舌下免疫療法＞

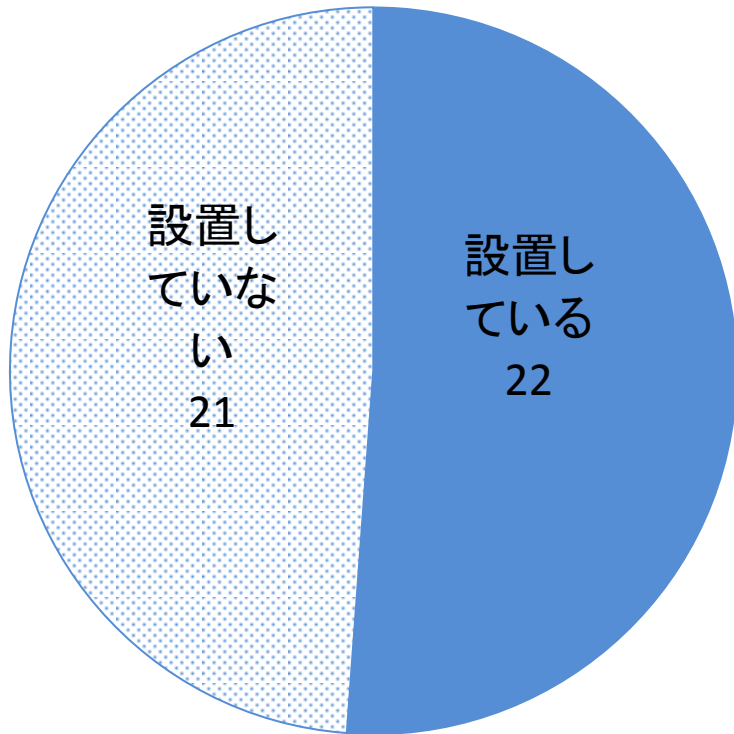


＜皮下免疫療法＞



有効回答 42施設

8 アレルギー専門外来設置について



アレルギー専門外来設置例

「アレルギー外来」

「アレルギーセンター」

「小児アレルギー外来」

「生活アレルギー外来」

「アレルギー疾患内科」

「アレルギー疾患内科」

「呼吸器・アレルギー内科」

「皮膚科専門外来アレルギー」

設置回数

週1～2回・・・13施設

週3～5回・・・3施設

週8回・・・1施設

月1回・・・2施設

月2～3回・・・2施設

(未回答、曖昧回答: 1施設)

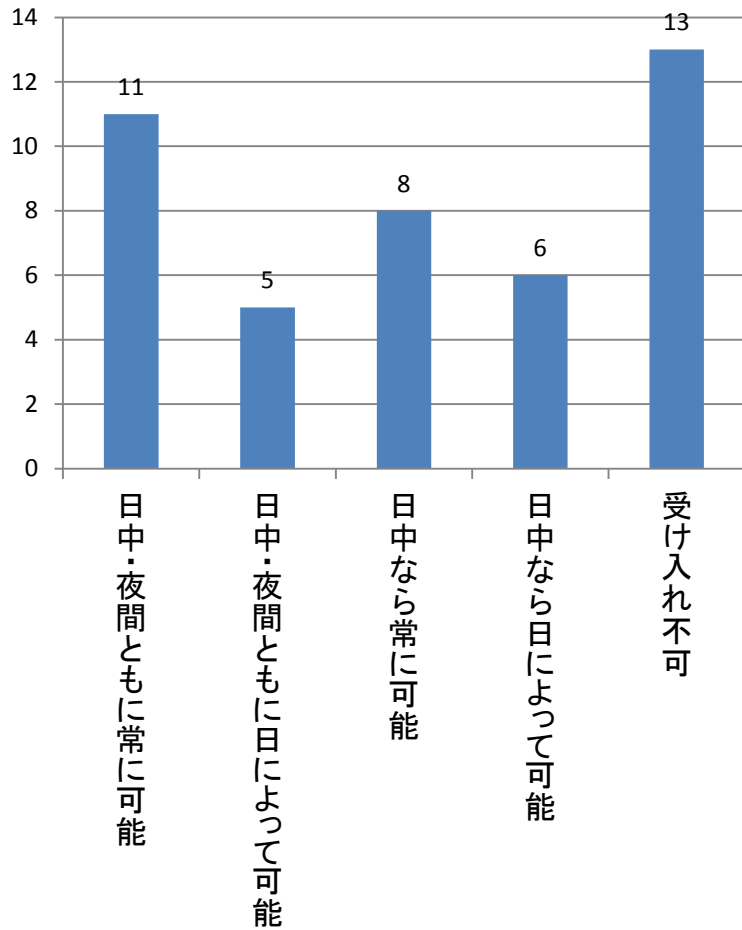
専任看護師について

アレルギー専門外来を設置している医療機関のうち、
専任看護師を配置しているのは5医療機関

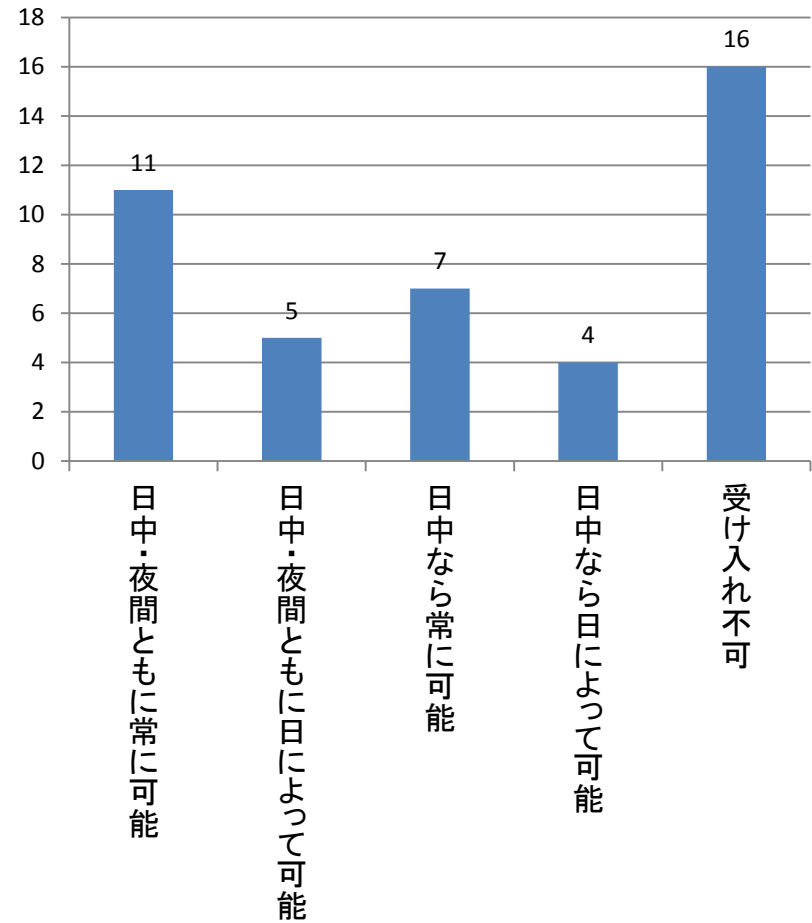
有効回答 43施設

9 救急受入れについて

ぜん息発作の場合

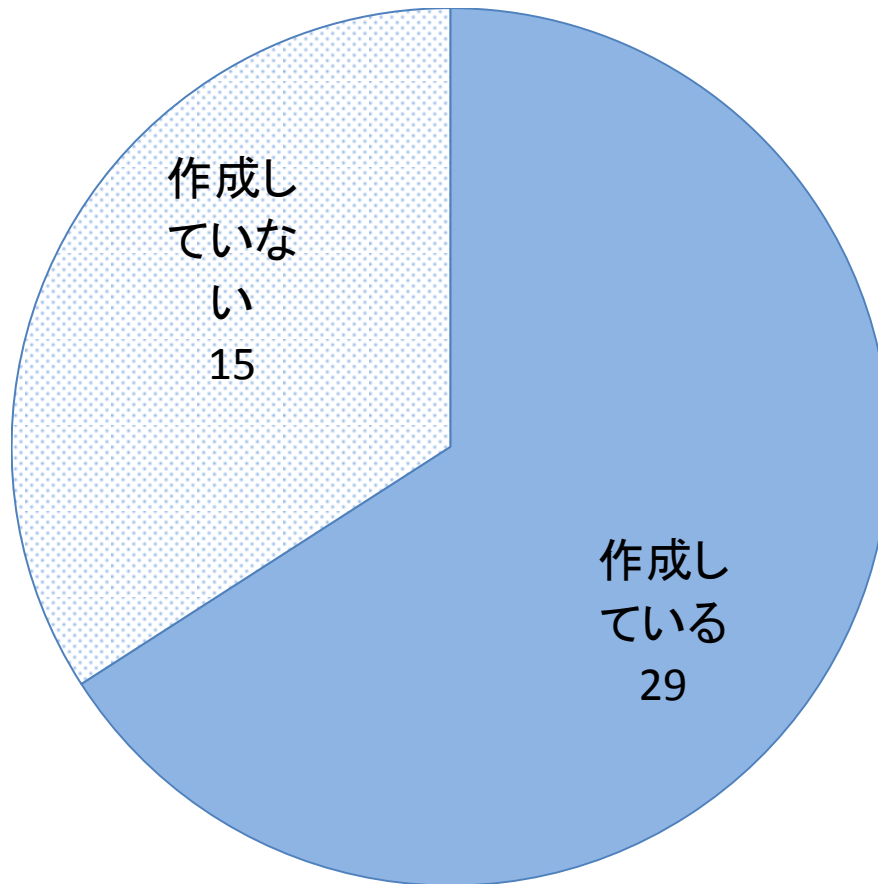


アナフィラキシーショックの場合



有効回答 43施設

10 「学校生活管理指導表」の作成について



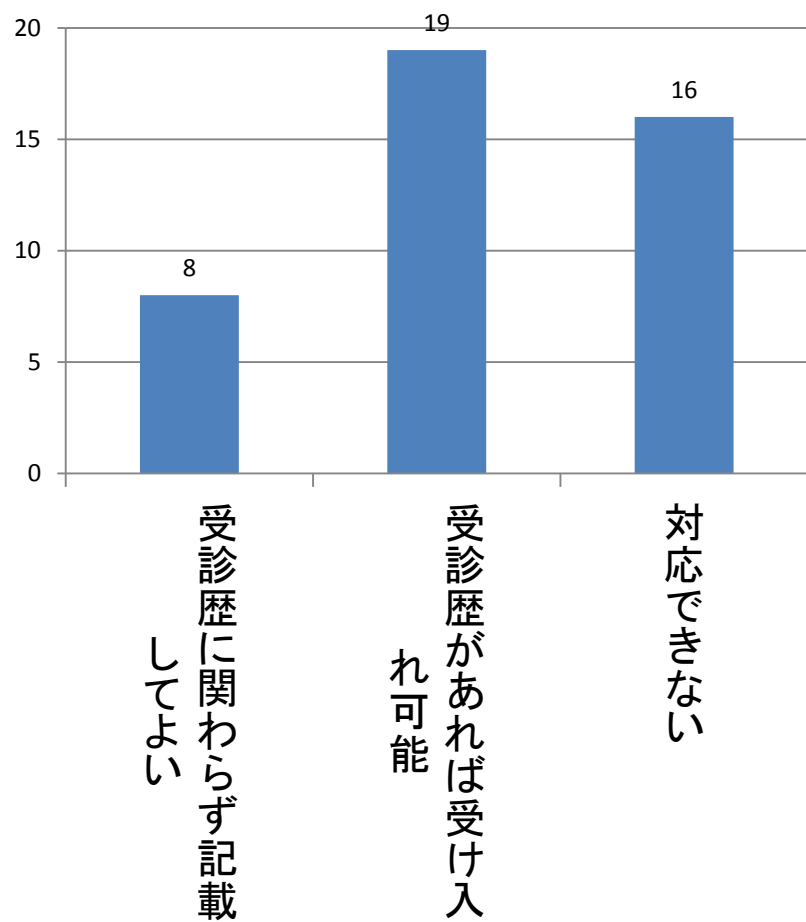
作成している診療科(複数回答)

内科...2
呼吸器科...1
アレルギー科...1
小児科...28
皮膚科...7
耳鼻咽喉科...3
眼科...4
その他...2
(「感染免疫科・生活アレルギー科」他)

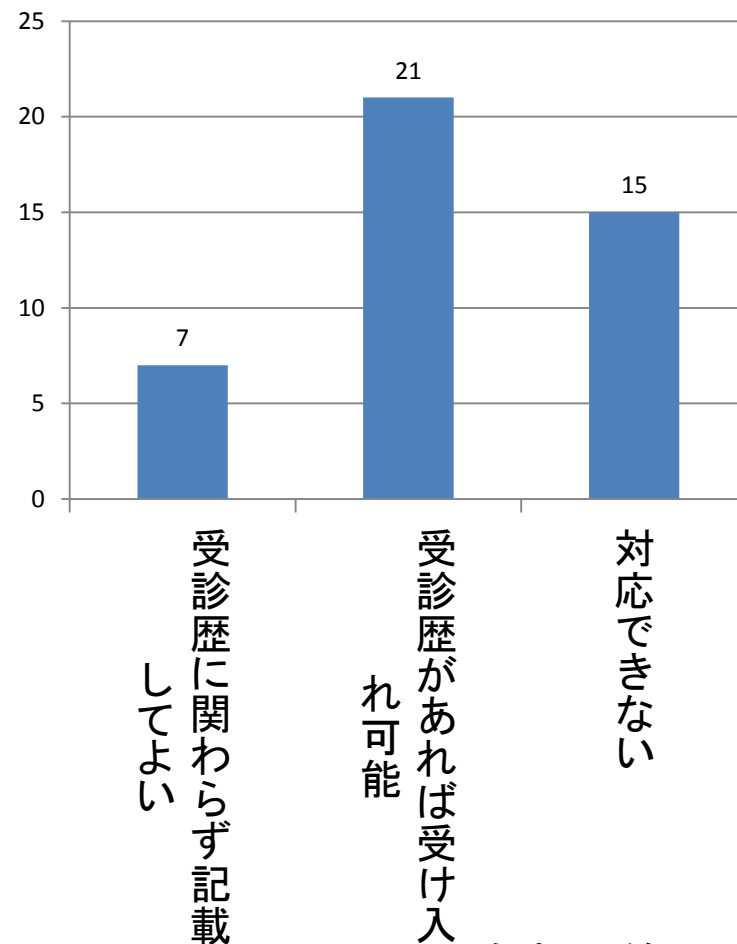
有効回答 44施設

11 「学校生活管理指導表」の緊急時連絡医療機関 の欄に医療機関名を記入することについて

アナフィラキシーショックの既往がある場合

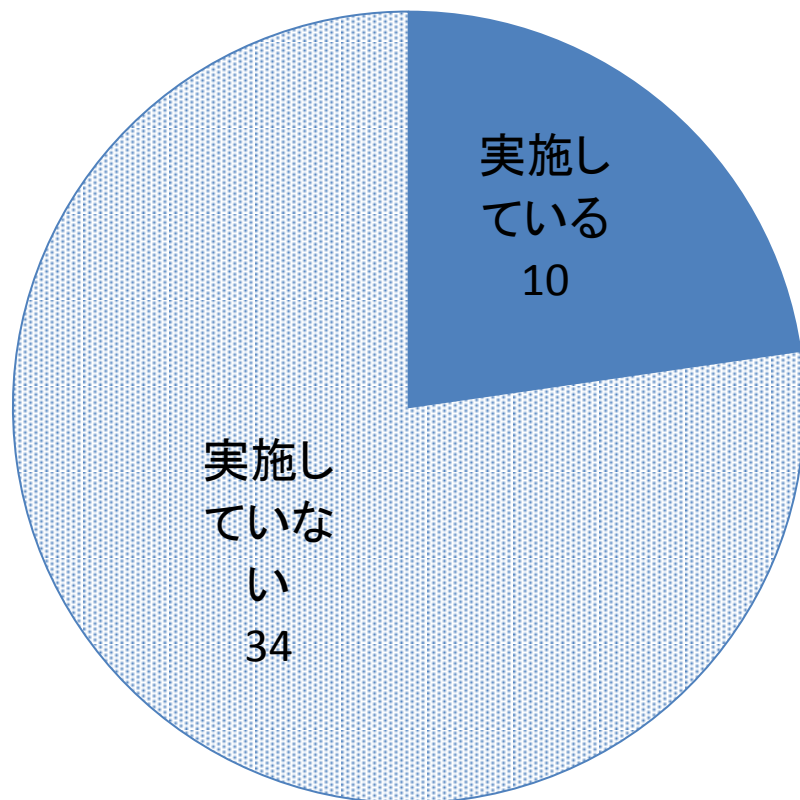


アナフィラキシーショックの既往がない場合



有効回答 43施設

12 患者、家族、一般住民対象のアレルギー疾患に関する教室・講演会の実施＜平成28年度＞

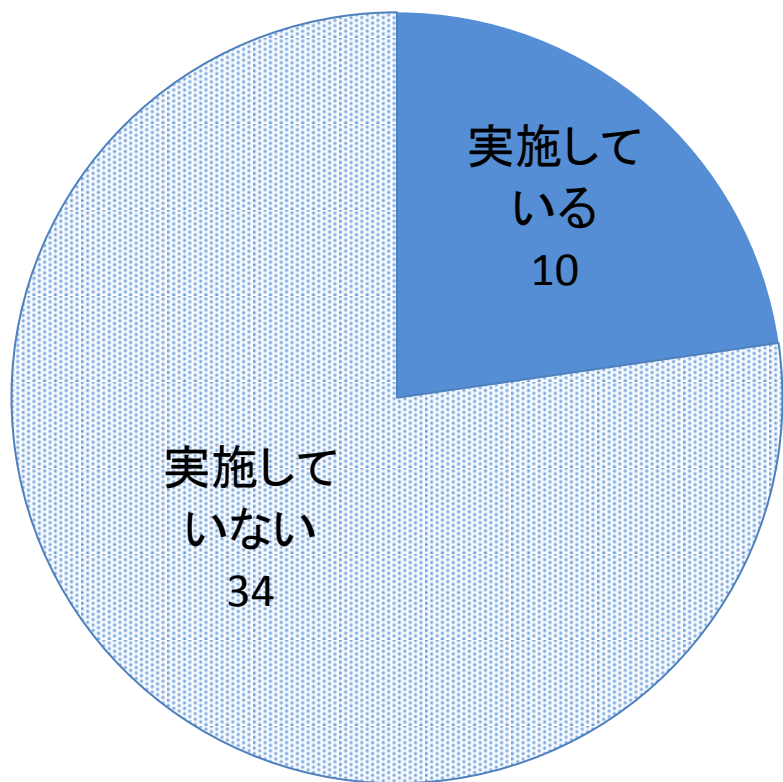


教室・講演会の実施例

- 「食物アレルギーについて」
- 「子ども健康教室」
- 「アレルギー週間市民公開講座」
- 「埼玉医科大学市民公開講座」
- 「埼玉医科大学小児科市民公開講座」
- 「ぜん息教室」
- 「アレルギー性皮膚炎とスキンケア」
- 「さいたま市こども未来局市民公開講座」
- 「アレルギーキャンプ(食物負荷試験患者教育のための入院)」
- 「八潮市市民公開講座」 など

有効回答 44施設

13 アレルギー疾患診療や保健指導に従事する人材の育成を目的とした医療従事者対象の研修会や勉強会の実施<H28年度>

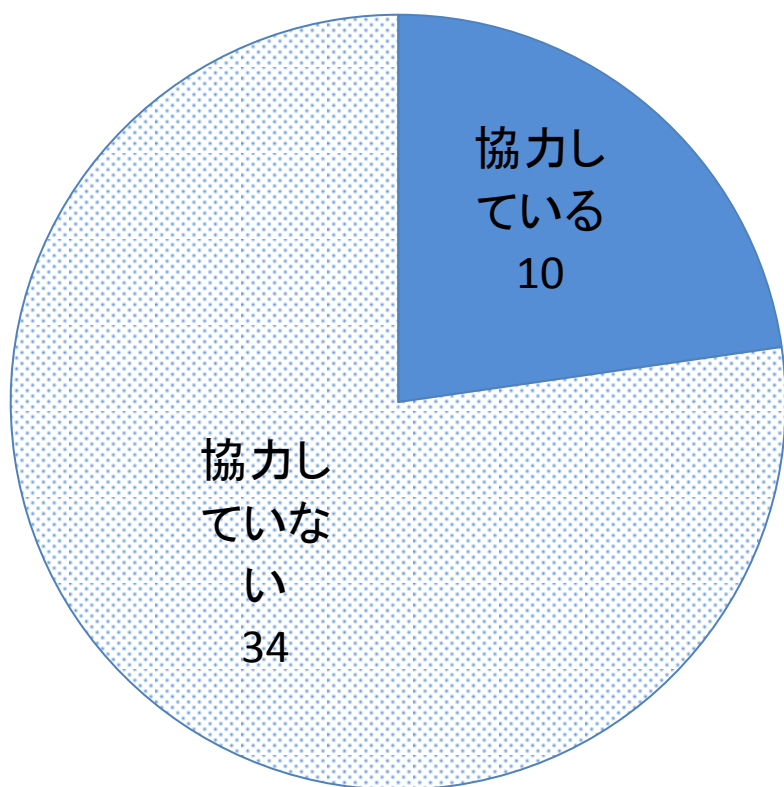


研修会・勉強会の実施例

- 「アレルギーフォーラム」
- 「専門医取得目的研修」
- 「アレルギーセンター勉強会」
- 「小児科抄読会」
- 「埼玉小児アレルギー疾患懇話会」
- 「アトピー性皮膚炎を中心とした小児皮膚疾患」
- 「院内勉強会(食物アレルギーの現状)」
- 「ぜん息・COPD治療を考える会」
- 「吸入薬の実技指導」
- * 大宮・浦和・与野・所沢・川口等、各医師会での研修会講師、県内外の医師や看護師・薬剤師の見学受け入れ、学生実習受け入れ 等

有効回答 44施設

14 学校や保育所の教職員を対象とした研修会・勉強会への協力 <H28年度>



協力した研修会・勉強会の実施例

「アレルギー疾患研修会」(埼玉県疾病対策課主催)
「アナフィラキシー学習会」
「給食施設における食物アレルギーへの対応について」
「食物性アナフィラキシーについて」
学校・保育所訪問 等

有効回答 44施設

15 国等が実施するアレルギー疾患に関する調査・研究への協力について

